

ＪＩＣＡ２０１９年度トルコ国別研修 「地域開発に係る地方行政官の能力開発Ⅴ」コースを受け入れました。

北海道開発局は、令和元年６月２６日から７月１８日にかけて、トルコ共和国内務省の行政官１２名が参加するＪＩＣＡ主催の「地域開発に係る地方行政官の能力開発Ⅴ」研修を受け入れました。本研修は平成２８年度に１回、平成２９年度に２回、平成３０年度に１回実施されており、今回で５回目の開催となりました。

トルコでは地域格差を是正するために、各地域の資源や特色を有効に利用した地域開発のビジョンが必要とされており、県知事、郡長として地方を統治する内務省地方幹部行政官は、広域的な地域開発の知見を深めることが求められています。

ＪＩＣＡからの依頼を受け、北海道開発局が、国が注力した北海道総合開発の経験を伝えることはトルコにおける地域開発の質の向上に資するとの考えにより、現役の副知事又は郡長を務めるトルコ内務省の行政官を対象とした本研修の実施に協力いたしました。

【北海道開発局長表敬の様子】



【研修の様子】



北海道総合開発体制の概要

研修プログラムにおいて、北海道総合開発体制をはじめ、道の駅、シーニックバイウェイ、アイヌ施策の推進等、当局が実施する事業について、職員が講師となり講義を実施しました。

講義後の研修員の感想や後日研修員に実施されたアンケートによると、研修プログラム全体を通して大変有益だったと高い評価を受けました。

中でも当局が協力した分野では、北海道総合開発の体制について、北海道を短期間で大きく発展させたことは一つの開発モデルとして非常に参考になった、日本における道の駅の取組が大変役に立ち、帰国後は自分が管轄している地域で道の

駅をつくり地域活性化に取り組みたい、シーニックバイウェイについては講義を受けて興味をもち、実際に支笏洞爺二セコルートのシーニックバイウェイを見学して感動したという感想が多く聞かれました。

また、アイヌ施策の推進については、先住民族の文化保護はとても重要であり、これらを世界に発信できる施設の建設は非常に有益であり、トルコにもそれぞれの地域に先住民族が暮らしているため、大変参考になったとの意見も聞かれました。



アイヌ施策の推進



道の駅／シーニックバイウェイ

【北海道局長表敬の様子】



今回の研修では、東京で一部の研修が行われ、北海道局長への表敬も行われました。

北海道局長表敬では、研修期間中に水島北海道局長が就任されたため、7月1日に行われた北海道開発局長表敬から再び東京で研修員とお会いするという珍しい表敬訪問となりました。研修員の皆さんは再会を喜び、北海道での研修の成果や感想をそれぞれ報告しました。

【アクションプラン】



研修最終日に開催されたアクションプラン発表会では、北海道で学んだ地域開発事例を活用し、トルコにおいてどのような事業を実施するのか、研修員が一人一人発表しました。

発表後はコースリーダーとして初回から本研修に携わる（一社）地域研究工房代表理事小磯修二氏から総評及び各研修員へのアドバイスをいただき、研修の成果を確認しました。

【閉講式】



JICA 北海道 国際室長から修了証書の授与



研修員代表の挨拶



研修員との集合写真

※写真提供 (公財) はまなす財団

3週間の研修も無事終了し、7月18日に閉講式を迎えました。
JICA 北海道センター所長から各研修員に修了証書が授与され、北海道開発局からは国際室長が本研修協力機関として挨拶を述べました。研修員代表からは、本研修関係者への感謝の意と、研修内容を今後の業務に活用していくことへの抱負が述べられました。
北海道総合開発の取組や、各地の地域開発の取組がトルコにおいて活かされることが期待されます。
研修にご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。